

脱炭素先行地域

# 松江市脱炭素先行地域での取組の概要について

エコクリーン松江  
(廃棄物発電)



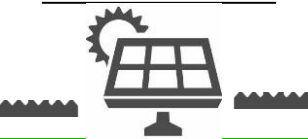
卒FIT



※松江プラン  
Jクレジット



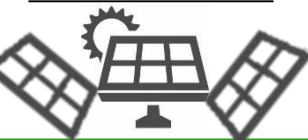
オフサイトPPA



オンサイトPPA



リユース発電所



環境価値



美保関観光旅館エリア  
(旅館・ホテル・土産店など)



国宝松江城周辺エリア  
(観光施設・土産店・民家・市有施設など)



松江しんじ湖温泉エリア  
(旅館・ホテル・土産店・市有施設など)



玉造温泉エリア  
(旅館・ホテル・土産店・市有施設など)

※松江プラン  
景観規制で太陽光発電設備が困難なエリアへ  
市の環境価値を活用したプランを造成し供給。

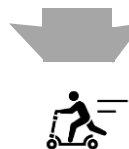
美保関

【再エネ導入、省エネ機器への転換】  
【グリーンスローモビリティの導入】



松江城周辺

【市内観光モビリティの脱炭素化】  
・電動キックボードの活用  
・堀川遊覧船の電動化



松江しんじ湖温泉・玉造温泉

【温泉配湯機器の脱炭素化】  
【再エネ導入、省エネ機器への転換】  
【V2Hによる公民館の防災力強化(観光客の避難所)】



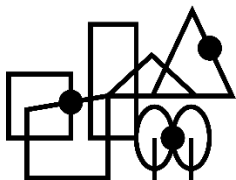
<企業連携>

市内外の企業間連携により、  
ブルーカーボンの活用、カーボンニュートラルの  
観光プラン造成などにより、「観光の脱炭素化」を  
推進



《連携企業》

・中国電力 ・山陰合同銀行 ・ごうぎんエナジー ・IIJ  
・日鉄エンジニアリング ・日鉄環境エネルギーソリューション  
・東京海上日動火災保険 ・西日本旅客鉄道 ・日本旅行  
・しまね産業資源循環協会 ・アースサポート  
・松江観光協会 ・BIPROGY



脱炭素先行地域

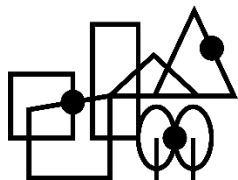
# 今後のスケジュール（主な取組）

2023（令和5）～ 2027（令和9）年度の5ヶ年で、「先行地域における脱炭素」を目指す

概算事業費 52億円

交付金（見込み） 34億円

主な取組み	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度
オフサイトPPA（市有遊休地）（923,000千円）		○	○	○	○
オンサイトPPA（屋根・ソーラーカーポート）（869,000千円）		○	○	○	○
コミュニティ蓄電池導入（2,240,000千円）			○		
高効率ヒートポンプ給湯システム・高効率照明機器導入 （860,000千円）	○	○	○	○	○
温泉排水熱利用システム導入（81,000千円）	○	○	○	○	○
電動小型モビリティ導入（227,000千円）				○	○
太陽光パネルのリユースパネル太陽光発電所建設	○	○	○	○	○
堀川遊覧船の電動化	○	○	○	○	○
ブルーカーボンの推進・水草や林地残材等の利活用	○	○	○	○	○



脱炭素先行地域

# 今後のスケジュール（松江市脱炭素先行地域推進協議会）

## ○推進協議会スケジュール

令和5年 9月

10月

令和5年度

第2回「松江市脱炭素先行地域推進協議会」

- ・令和5年度進捗状況について
- ・令和6年度事業計画について
- ・タスクフォースの状況について

12月頃

令和6年 4月

5月

令和6年度

第1回「松江市脱炭素先行地域推進協議会」

- ・令和6年度事業計画及び年間スケジュール

10月

第2回「松江市脱炭素先行地域推進協議会」

- ・進捗状況について

## ○交付金スケジュール

令和6年度事業費及び全体事業費提出・確認・精査

令和6年度 国の必要額調査

令和6年度事業額内示

交付申請書の提出 ※内示の通知以降速やかに  
交付決定通知